

巻石通りの無電柱化整備方針（案）について

1 経緯

平成 28 年度に策定した「巻石通りバリアフリー計画」では、策定時に行ったアンケートにおいて、無電柱化を求める区民の意見が多かったことや、国の「無電柱化の推進に関する法律」（平成 28 年法律第 112 号）が制定され、区市町村は無電柱化の推進に関する施策についての計画を定めるよう努力義務化されたことから、区としてバリアフリー化と併せた無電柱化の検討を行うこととした。

巻石通りは歩道幅員が狭く無電柱化が難しい区間があるが、都が平成 29 年度に拡充した「無電柱化チャレンジ支援事業」を活用し、都の技術的支援を受け検討した結果、「巻石通りの無電柱化整備」について、方針（案）がまとまったので報告する。

2 検討概要

- (1) 路線 特別区道文第 889 号（巻石通り）
文京区音羽一丁目 1 番～水道一丁目 12 番先
道路延長約 1,400m、道路幅員約 12m（歩道幅員約 1.3m～約 3.3m）
- (2) 内容 地中化のための電線共同溝の予備設計、狭い歩道（2.5m未滿）における地上機器の設置検討、低コスト手法等の技術検討等

3 整備方針（案）

(1) 整備手順（別紙参照）

- | | |
|-------------------------------|---------------|
| 第一期工事：目白通り～江戸川橋体育館（延長約 400m） | 工期 約 8 年(予定) |
| 第二期工事：金富小学校～安藤坂交差点（延長約 500m） | 工期 約 12 年(予定) |
| 第三期工事：江戸川橋体育館～金富小学校（延長約 500m） | 工期 約 12 年(予定) |

(2) 地上機器設置箇所

道路区域外の公共施設用地を活用することで、歩道幅員の確保に努める。

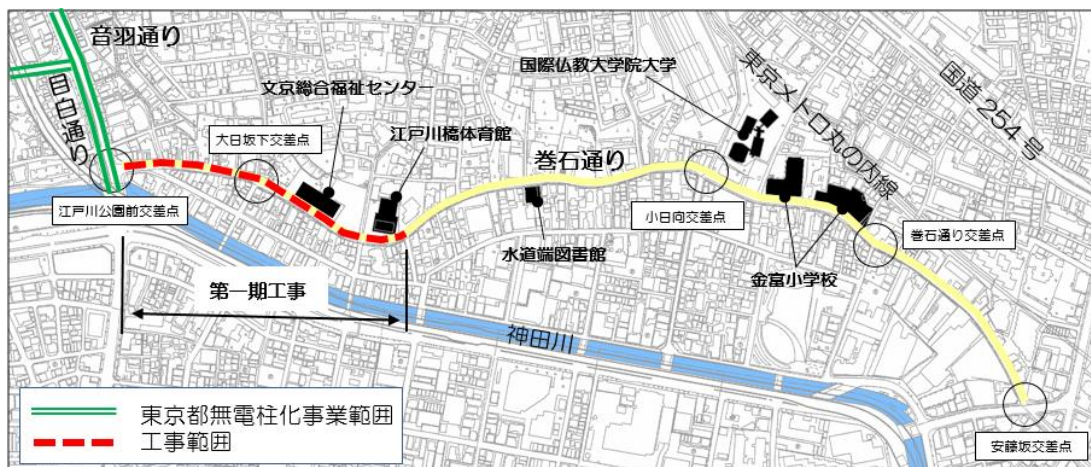
(3) 第三期工事

歩道幅員が狭く埋設物が輻輳していることから、現時点では無電柱化が困難なため、技術革新を待ってから整備を行う。

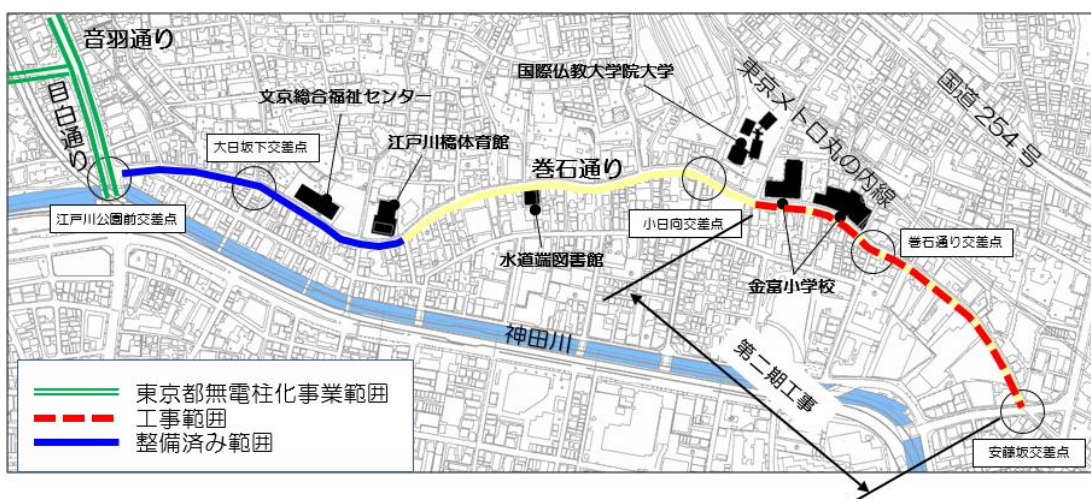
4 第一期工事のスケジュール（案）

- | | |
|-------------------|-------------|
| 平成 30 年 5 月 | 議会報告、住民説明会 |
| 平成 30 年度（6 月～） | 詳細設計、関係機関調整 |
| 平成 31 年度～平成 36 年度 | 無電柱化整備工事 |
| 平成 37 年度～平成 38 年度 | バリアフリー整備工事 |

・第一期工事：目白通り～江戸川橋体育館（延長約 400m）工期 平成 31～38 年（予定）
東京都が無電柱化整備予定である緊急輸送道路（目白通り）から避難所（文京総合福祉センター、江戸川橋体育館）までの連続性、無電柱化整備可能な歩道幅員を有することなどから、優先して整備を行う。



・第二期工事：金富小学校～安藤坂交差点（延長約 500m）工期 約 12 年間（予定）
避難所（金富小学校）が面していることや無電柱化整備可能な歩道幅員を有することなどから、第一期工事の後に状況を判断し整備を行う。



・第三期工事：江戸川橋体育館～金富小学校（延長約 500m）工期 約 12 年間（予定）
歩道幅員が狭く埋設物が輻輳していることから、現時点では無電柱化が困難なため、技術革新を待ってから整備を行う。

